



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 11

2018.9.19(No.2975)

自らのロータリーストーリー  
を作りましょう

第2560地区ガバナー／川瀬康裕  
会 長／松永一義  
会長エレクト／若槻八十彦(クラブ奉仕A)  
会長ノミニ／野崎喜一郎(クラブ奉仕B)  
幹 事 西山徳芳  
S A A／渡辺良一  
会 計／吉井直樹  
直前会長／小出恵出

例会日／毎週水曜日 12:30～

例会場／三條市旭町2-5-10  
三條信用金庫本店内  
TEL 34-3311

事務局／三條市元町2-16  
越前屋ホテル 3F  
TEL 47-0505 FAX 46-8873

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを  
押してください)

- 本日の出席会員数:60名中42名
- 先々週出席率:82.46%

#### 【ビジター】

・加茂RC 森山一理さん

#### 【先週のメイクアップ】

[9.12] 佐渡南RCへ

・関川 博さん、吉井直樹さん

[9.13] 佐渡RCへ

・関川 博さん、吉井直樹さん

[9.14] 吉田RCへ

・熊倉昌平さん

[9.15] 地区諮問委員会・

大谷ガバナーエレクト

事務所開所式(上越)へ

・関川 博さん、金子俊郎さん

[9.17] 派遣学生帰国報告会(新潟)へ

・西山徳芳さん

[9.18] 三條北RCへ

・小越憲泰さん



インスピレーションになるう

2018～2019年度国際ロータリーのテーマ



## 会長挨拶

松永一義 会長



先週までは色の話をしました。これからは着物の柄について、何回か話をしたいと思います。

女性の着物を見る時は、まず色、近くに来ると柄、文様が目に入ります。前回までは色の格についてでした。文様にも格があります。それと紋も格があります。

色々、面倒な事を言うので、着物が売れなくなったのかもしれませんが。日本の文化は、見て分かる文化、物言わぬ文化。西洋は、ボディーランゲージ、ジェスチャーの世界といます。

ロミオとジュリエットの上と下でアイラブユーの世界と、見合いの席で下を向いて畳の上にのの字を書く文化、奥ゆかしいのが日本の美意識なのかなーと思います。

世界の民族衣装の中では、韓国のチョゴリ、中国のチャイナ服、インドのサリー、ヨーロッパのドレス、他色々ありますが、日本の和服は名実ともにトップクラスです。文様にも格がありますが、今回は日本人の心の柄、さくらについてです。

春になると、桜前線が毎年ニュースになります。他の花ではありません。パッと咲いて、パッと散る花。潔しとした花。「いわおに花咲く」と世阿弥の言葉にあるそうです。心の働かせようで、いつ、どのような所にも花を咲かせ得るのだそうです。

一番有名な桜、岐阜県の薄墨桜は、樹齢1400年、枯死寸前の根に数百本の若い木の根を接いで生き返らせた桜です。

きもの的には時期があります。春の花です。枝や幹の付いた花は春だけになります。花びらは一年中の柄になります。

宇野千代さんは、薄墨桜を見てからは桜の柄の着物だけを着たそうです。

図案については今日の朝届いたユリの図案がありますが、時間が無いので来週の話にします。

## 幹事報告



### 西山徳芳 幹事

◎分水RCより

「第4分区IMご出席の御礼」

◎川瀬ガバナー事務所より

「地区大会記念親睦ゴルフ大会お申込み御礼及び組合せ表送付」

## ニコニコBOX

加茂RC 森山一理様

いつもお世話になっております。

来る11月17日(土)加茂文化会館に於いて、<sup>しょうてん</sup>笑典、笑いの鉄人ライブSHOWを行います。加茂ロータリークラブ後援です！どうぞお出かけ下さい。チケットは森山まで。

松永一義会長

災害のない一週間、平和っていいですね。関東の夕方の大雨くらいかわいいものです。

五十嵐さん、卓話楽しみです。

五十嵐晋三さん

卓話をいたします。どうぞよろしく申し上げます。

西山徳芳さん

五十嵐晋三会員の卓話、豊富の話談、期待してま

山田富義さん

9月16日、4人目の孫が生まれました。4人とも男です。

中條克俊さん

9月5日ジャパンハウス・ロンドンにて2ヶ月間開催される燕三条展のオープニングセレモニーに出席させて頂き、良い経験をさせて頂きました。

五十嵐さん、本日の卓話宜しくお願い致します。

菊池 渉さん

お盆が過ぎ、秋彼岸が近づき、お取越、そして正月…。もう雪の心配をしています。

荻根澤隆雄さん

早くも豊山が負越しましたが、稀勢の里が勝越しでホッとしています。

大先輩の五十嵐晋三会員、卓話ご苦労様です。

樺山 仁さん

秋空がすばらしいです。

本日の五十嵐会員の卓話、久し振りです。楽しみにしております。

小出子恵出さん

上着が必要な涼しさになりました。週末が晴れますように。

五十嵐晋三さんの卓話が気になります。

落合孝夫さん

稀勢の里、勝ち越してよかったです。

神子島正樹さん

良い天気で気持ちが良いです。

本日もよろしく申し上げます。

小林吾郎さん

北岳、<sup>あひ</sup>間ノ岳を登ってきました。筋肉痛がひどい

渡辺良一さん

森山さん、ようこそいらっしゃいました。

五十嵐晋三先輩、卓話楽しみにしていますよ。

熊倉昌平さん、伊藤寛一さん、金子俊郎さん、

石橋育於さん、渡辺勝利さん、歸山 肇さん、

小越憲泰さん、丸山行彦さん、高橋 司さん、

小林卓哉さん、斎藤弘文さん、柳取崇之さん、

五十嵐博宣さん、衛藤泰男さん、明田川賢一さん、

五十嵐昭一さん、若槻八十彦さん、加藤紋次郎さん、

杉山幸英さん、船越良則さん

五十嵐晋三会員、本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

9月19日分 ￥ 36,000

今年度累計 ￥ 480,000

## 「卓 話」

### 「三条金物業界から出版された本」

#### 五十嵐 晋三 会員



三条金物業界から今まで3冊の本が出版されております。最初は三条金物青年会発行の“刃物の見方”です。次は金物卸商組合発行の“金物と草鞋と”です。その後、協同組合になってから“金物と草鞋と”の続編の発行です。

今日は、前に出版された2冊の話をご紹介します。

“刃物の見方”これは、岩崎航介遺稿集です。金物青年会主催のセミナーで岩崎先生から講演を頂きました。昭和41年7月15日、蒸し暑い中2時間たっぷりの話でした。90名以上の会員が熱心に受講しました。

この話を金物ニュース12月号より連載しました。その頃より先生は体調を崩されました。しかし、金物ニュースの寄稿をする為、病床の中で書かれ、最後は口づてでまでされ、完成してもらったのです。

内山裕一前会長から、これを冊子にして配布する案もありました。先生の立派な話をそのままにしておくことは忍び難いと金物青年会が総会で遺稿集を出版する事に決定しました。金物青年会は十周年でした。中條和男さんが五代目の会長でした。委員長に高橋一夫さん、委員に田中広治さん、齊藤修三さん、外山登さん、五十嵐晋三でした。10回位に渡り、会長をはじめ時には野島出版の馬場由太郎社長を交えて行いました。野島出版に見積もりを依頼、1000部正式に発注しました。その後、各方面よりの依頼があり、1200部としました。出版前に1200部完売していました。

岩崎航介先生はどんな方かを少し紹介します。

岩崎又造氏の二男として誕生しました。新潟高校卒業、父を助けて金物家業に従事、その頃、刀剣研師、永野才二師の門下になり、そこで刀の研を学びます。その後、刀を作るには歴史を学ばねばと、東大文学部国史学科に入りました。そこで刀匠の勝村正勝師に入門、刀剣の鍛法を学びます。文学部卒業後、鋼の勉強をする為、東大工学部冶金科に入学。そして、大学院で西洋カミソリの試作研究をします。東大工学部卒業後に東大工学部副手となります。

そして、日本刀製法研究会設立。その後、三条に昭和20年に帰る。日本刀製作に努力します。しかし、敗戦で活動中止。22年に三条製作所を設立、刃物の研究に従事します。その後、正倉院の刀身調査員にまでなられた方です。

吉川英治氏と交流があり、宮本武蔵に出ている研師・厨子の耕介は、岩崎先生がモデルです。

話しを元に戻します。

“刃物の見方”序文は、先生と親交のあられた、東京工業大学の桶谷繁雄教授です。装丁は、親友でいられた広川操一先生です。表紙は刀剣、裏表紙は西洋カミソリです。岩崎先生をよく存じていられる装丁です。

広川先生は出版記念の挨拶の中で、東京で長い間教官をしていた。三条に帰って青年会の幹部の人達と会い、三条にいい若い人が居るとわかり、心強く思った。今日の出版記念に岩崎さんは細い目をいっそう細くしてあごを撫でて喜んでいるだろう。と話されました。

題字は、桑原翠邦先生です。桑原先生は、昭和47年1月より東宮御所の書道御進講(東宮御所の書道の先生)の命を拝された方です。この題字は、その前のものです。

少し話はずれます。先生は燕の明道金属さんとお付き合いがあったとの事でした。そういう事で、“刃物の見方”の紹介と少し買ってもらいたいと思い、中條会長、高橋委員長、私の3人で伺いました。休日自宅に来るようにとの事。休日自宅へ伺いました。

先代の夫人と2代目社長が迎えてくださいました。きりっとした立派な夫人でした。しばらく話した後、夫人から何冊買わせてもらえばいいですかと言われました。恐る恐る100冊お願い出来ればありがたいと言いました。すぐ、わかりました100冊買わせて頂きます。鮮やかと言う言葉が当てはまるかどうかわかりませんが、快く買って頂いたのです。よくお礼を述べ、帰り道で最初にお願ひに来てよかったですと3人で喜び合いました。

十周年式典、出版記念が終わり、桑原先生にお礼に行く事にしました。中條さん、高橋さん、私の3人共に東京出張の日が同じ頃でした。桑原先生より席の世話をしてもらい、3人で行きました。先生は全く気かざりもなく打ち解けて話をしてくださり、助かりました。

料理屋の女僕は先生をよくもてなしていました。和服羽織を着ていられ、印象深く残っている事は先生の目が常に“ピカピカ”光っている事が忘れられません。

“刃物の見方”はその後、2年後に1200、その後1000部再販されました。特に我々の身近な読みやすい文をまとめたのが、この“刃物の見方”です。刃物を扱

う人から古典的教科書として、また、肩のこらない刃物随筆集です。50年前の事です。

先日、鍛冶道場へ行きました。長谷川館長と話しました。今でも“刃物の見方”は鍛冶道場で販売しているそうです。岩崎先生の遺品、西洋カミソリ、ご子息重義さんのカミソリと初刊の“刃物の見方”が並んで陳列されていました。

“金物と草鞋と”の話に移ります。

これは金物卸組合20周年の記念事業として発行されたものです。今のうちに金物の歴史を作っておかなければわからなくなると、そういう懸念は私達は前から思っていました。

昭和53年3月の役員会で記念誌刊行が決まりました。当時の組合長は外山産業の外山一郎さん(7代目)でした。副組合長に河崎貞二さん、宮口伝策さん、中條和男さん3名でした。

中條和男さんが編集委員長に決まり、委員に馬場茂夫さん、葦澤喜一郎さん、高橋一夫さん、外山登さん、五十嵐晋三の計6名で、顧問に会議所専務の長谷川松蔵さん、三条の地場産業を研究していられるという事で、新大の池田教授をお願いをしました。その後、池田教授からは監修もお願いしました。

まず、資料蒐集、執筆、編集、校正の順です。

資料蒐集に併行して資料の選定です。戦後からの改築、店舗新築、移転等で貴重な資料が散り散りになったり、消失したりしていたのです。思うように集まらず、次々に壁にあたり、困難を極めました。探し求めていた一枚の資料に皆で喜んだりしました。

資料選定、執筆内容の検討、文章表現の統一と、全くの素人が取り組んだのです。

最初、会議所で作業をしておりました。我々は日中は仕事があります。夜の作業になります。会議所は残業時間の制限があり、その為、中條金物さんの2階へ移りました。夜に集まり、時には遅くなるまで作業をしました。

各章の骨子の案が決まりました。私は(数人)第3章、その後、第4章、第5章をまとめる作業になりました。最近20年の事業のまとめでした。昭和53年4月15日、印刷は三条印刷さんに決定。4月28日に記念誌の名称を“金物と草鞋と”に決定しました。

三条印刷さんとの打ち合わせ(原稿用紙、紙質、活字の大きさ)、その後、資料、写真、装丁、ケース等の決定。8月31日未明、ようやく全原稿がまとまりました。その後、10月2日に20周年の撮影と原稿作りが終わりました。

校正地獄と言う言葉があります。難作業が始まりました。この作業は原稿作りより心苦のいる仕事であり、一日も早くこの仕事から脱したい気持ちが気をいら立たせました。

しかし、どうみても印刷屋さん泣かせの原稿でした。それからが大変でした。試行錯誤の連続、各自意見の違いがあったりして、色々と壁に当たりました。執筆が間に合わず、出張先に持って行き書いた事もありました。当初、300頁くらい1年もかからず出来ると言われてのスタートが、720頁に膨れ上がり、大幅にアップしました。

装丁に三条出身の芸大教授、広川青吾先生、そして、巻頭の書を桑原翠邦先生にお願いしました。巻頭の書は“温故知新”であります。(過去をたどり、それを十分消化して、それから未来に対する新しい思考を見つけるべき)両先生へのお願いに外山組合長、中條委員長が東京へ行って来ました。両先生に皆様のお役に立つなら喜んで致します。と言われたそうです。広川先生は中條さんに本を作るという事はそう簡単な事ではありませんよ。と言われたそうです。

校正に入ります。53年12月20日初校提出、54年4月再校、54年8月3校と原稿を差し替え、54年11月4校、55年5月念校、55年9月10日に製本見本が出来ました。

55年10月1日配布開始。2000部製作をしました。関係各所、各組合員他に配布。

その後、55年12月2日に組合総会と出版記念式が行われました。

7代目外山組合長から8代目宮原組合長に移っておりました。感謝状は宮原組合長の名前でありました。2年6か月の歳月が流れておりました。

盲(めくら)蛇に怖じずという言葉があります。まさにそうであったと思います。

資料ゼロからのスタートでありました。よく出来たものだと思います。

本作りは相当な期間の調査と資料集め、それから、どのような本にするか手順を終えて初めて編集に入り、それぞれの段階に周到な心くばりを必要とします。それはなかったのです。

中條会長の髪の毛は最初の頃は少し白いものが混じっていました。本が出来上がった時は、まっ白に変わっておりました。我々各委員も出来上がった時は使命感達成をした事、良く頑張った満足感がありました。中條さんは我々の数倍の達成感を味わられたと思います。

広報委員会で金物ニュース“金物と草鞋と”の特集号を発行する事にしました。広報委員長に丁度私が

なっておりました。原稿依頼を金子会頭、長谷川専務理事、内山教育長、野水工業会長、図書館の若槻さん並びに歴代組合長にお願いしました。皆さん快く引き受けてくださいました。

金子会頭は大きな転機を迎えているといわれる昨今、本当によい資料をまとめて頂いた。教えられるこの余りにも多いのに私は謹んで“金物と草鞋と”に頭を下げると記されました。組合から選ばれた編集委員各位の若さ、情熱を注ぎこまれたその心意気、責任感に敬服のほかにはないと言われました。

工業会会長の野水哲郎さんをお願いして伺った時、快く明るくさわやかに対応してくださった事を覚えております。野水さんは原稿依頼を受け、膨大な本で恐れをなし、年のおしせまっていたので積んどく状態であったが広げてみてツーっと読み、そして読み返し、これはいわゆる金物を作っている工業人はもちろん、金物同志のほとんどは自分の先祖、自分のルーツを見出す事ができるのではないか、この本は三条金物に関しての過去帳であるとともに、三条金物百科事典といってもいい。3年近く労された事に敬意を表する次第であると記されました。

他の皆様からも賞賛の言葉を頂きました。

どうしてこの“金物と草鞋と”が出来上がったか、私なりに考えてみました。

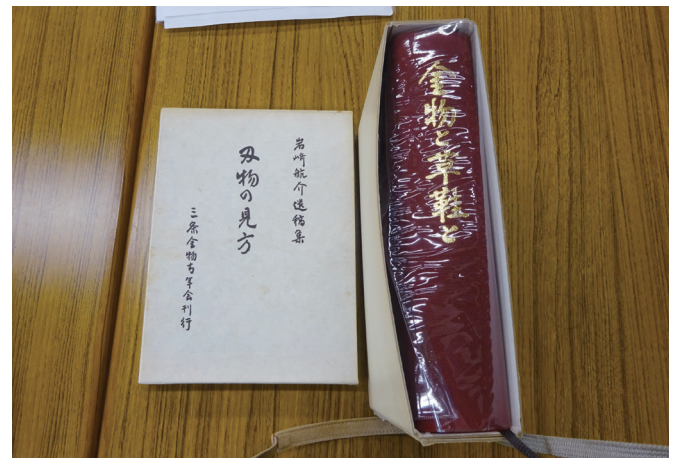
その時代は金物の最高の時代であったと思います。350~400社ありました。

そして、三条印刷の渋谷社長に多大なご尽力を頂いた事、会議所事務局に頑張ってもらった事、先輩の皆さんが戦前、戦後の事を知ってられる方が健在でいられた事、組合がこの日の為(何か大事の為)、金物見本市、産地問屋見本市のわずかな歩銭、総合カタログの制作の少しの利益を蓄えていた事です。

外山組合長、加藤重利20周年実行委員長をはじめ組合の皆様のご温情であったと思います。そして、編集員が若く盛りであった事。私は40歳でした。

現在なら資料も集まらず作ることは困難だと思います。環境が大きく変わりました。いい時代に作っていたなあをつくづく思われます。二度とない貴重な体験でした。久しぶりに読んで、良く調べたなあと改めて思いました。

それからもう40年過ぎました。



# 10月の行事予定



三条ロータリークラブ例会日

日	月	火	水	木	金	土
	<b>1</b> ◆三条南RC 「米山月間」 米山奨学生 ウーアン、ティラー君	<b>2</b> ◆三条北RC 「米山月間」 米山奨学生 メディナ コントラス, ダニエル君	<b>3</b> ◆三条RC 「ライラ研修報告」 五十嵐博宣 青少年奉仕委員長	<b>4</b> ◆三条東RC <b>休会</b> (地区大会記念 親睦ゴルフ大会の為) (記帳できます)	<b>5</b>	<b>6</b>
<b>7</b>	<b>8 体育の日</b> ◆三条南RC <b>休会</b>	<b>9</b> ◆三条北RC 「ライラ研修報告」 青少年奉仕委員会	<b>10</b> ◆三条RC <b>クラブ休会</b>	<b>11</b> ◆三条東RC 「ライラ研修報告」	<b>12</b>	<b>13</b>
<b>14</b>	<b>15</b> ◆三条南RC 「ライラ研修報告」 丸山 智 青少年奉仕委員長	<b>16</b> ◆三条北RC 16日(火)→18日(木) 社会奉仕事業と振替 「二胡を知る・ 野沢香苗コンサート」 (記帳できます)	<b>17</b> ◆三条RC 「米山月間」 斎藤真澄 米山奨学委員長	<b>18</b> ◆三条東RC 「奉仕プロジェクト 委員会セミナー報告」	<b>19</b>	<b>20</b>
<b>21</b>	<b>22</b> ◆三条南RC 「会員卓話」 田中康之 会員	<b>23</b> ◆三条北RC 夜例会 「社会奉仕事業 反省慰労会」 (記帳できます)	<b>24</b> ◆三条RC 「会員卓話」	<b>25</b> ◆三条東RC 「夜例会」 (記帳できます)	<b>26</b>	<b>27</b>
<b>28</b>	<b>29</b> ◆三条南RC 「経済と地域社会の 発展月間」 外部卓話予定	<b>30</b> ◆三条北RC <b>クラブ休会</b> (記帳できます)	<b>31</b> ◆三条RC 「ロータリー財団月間」 野崎喜一郎 ロータリー財団委員長			

※近隣RC例会変更のお知らせ!(記帳できます)

- 加茂RC 10月 4日(木)夜例会
- 吉田RC 19日(金)例会日変更

記帳場所

加茂市産業センター  
燕市吉田公民館 窓口(10:00~15:00)

※吉田RC例会場の燕市吉田産業会館は、改修工事の為、2018年7月~2019年3月まで使用できません。  
改修工事の期間中、例会場及び記帳場所は燕市吉田公民館(県立吉田病院の前)に変更になります。

次週例会 10月3日 「ライラ研修報告」  
青少年奉仕委員長 五十嵐博宣 会員

次々週例会 10月10日 クラブ休会

